

構成員からの提案資料

【目 次】

(5 0 音順・敬称略)

提 案 者	提案事項	ペー ジ 番 号
あかがわ やすまさ 赤川 安正	○ 大学の誘致 1, 2 ○ 大学サテライトの誘致	1
いしざか みなえ 石坂 美苗	○ 瀬戸内海や街並みを生かした観光振興	6
こおりやま りゅう 郡山 龍	○ 呉市復活新計画 - くれワンダーランド構想 - まちに笑顔が溢れるイキイキした呉に！ ○ 大和ミュージアムを起点とした観光ワンダーランドの 整備	7
つかい まこと 塚井 誠人	○ 「道の駅」制度を活用した拠点整備	1 4
どうした だいじ 堂下 大地	○ 観光客を呉に滞在・周遊させる仕掛け（観光案内機能を 備えた道の駅・海の駅）の整備 ○ 島嶼部を中心とした体験型観光の推進 ○ 起業家をトータルにサポートできる支援体制の整備 ○ “made in KURE” のブランド力の更なる向上	2 0
ひら み え み 平見 絵実	○ 呉の魅力を増やす，発信する	2 4
みつい ゆうこ 光井 祐子	○ 専業主婦や定年退職後の元気なプラチナ世代が柔軟に働 き続けられる仕事の仕組み	2 6

※ この資料は，くれワンダーランド構想の推進に向けて，当会議において活発な意見交換を行っていただくことを目的として，各構成員に自由な提案をお願いし，作成いただいた提案資料です。資料の取扱いに留意いただきますよう，お願いします。

くれワンダーランド構想に向けた取組について

【構成員のお名前】	赤川 安正
【提案する取組の名称】	大学の誘致 1
【取組の概要】	AI 時代に必要とされるデータサイエンスエンジニアを育成する大学の誘致 課題： AI 時代に、データの相互関係を推論してニューラルネットワークを設計できるデータサイエンスエンジニアは不足 取組の概要： 大学で、以下の能力を持つデータサイエンスエンジニアを育成 ● 知的好奇心を持つ（データの持つ意義の探求） ● ビッグデータに関して、①データを整理する能力（入力と出力のマッチ）、②データの相互関係を推論する能力、などを持つ ● 公共データを理解するのに必要な能力を持つ ＊ 呉市の持つ公共データを人工知能の開発に活用すれば、世界中から人が集まり、ビッグデータの解析・応用が進められる（会津若松市が先行事例）。呉市の公共データのオープン（オープンデータ）の質と量によっては、ビッグデータ分析で先端を走る大学のサテライトオフィス、あるいは AI 研究所の誘致となる可能性もあり。 期待される成果： ● 若者の増加 ● 先進的な教育環境の整備（若者の流出を阻止） ● 交流・移動・定住人口の増加 ● 呉市のデータ解析による市民サービスや市民の健康の向上
【添付資料】	・なし

くれワンダーランド構想に向けた取組について

【構成員のお名前】赤川 安正
【提案する取組の名称】 大学の誘致 2
【取組の概要】 地域に貢献するグローバルリーダーを育成する大学の誘致 課題： 地域特性を理解したグローバルリーダーは不足 取組の概要： 大学で、以下の能力を持つグローバルリーダーを育成 ● グローバル社会の中で、主体性を持ちながら、多様な人たちと協働し、課題を発見・解決する能力を持つ（多様な留学生と学びながら、課題を見つけ討論してまとめる学修を1年から徹底、国際学生寮での全寮制（1年生）） ● 情報の収集・発信ができる外国語能力を持つ（マルチリンガルな教育） ● 知識を状況に適応・変化させ、応用する能力を持つ（実体験による教育、フィールドワークやインターンシップによる地域理解力の習得、企業の課題解決の取組） ● 起業家精神を持つ（ビジネスインキュベーションプログラムにより事業を考案） ● 日本の文化・社会、呉の文化・社会について深い知識を持ちながら国際交流ができる能力（実体験による教育、日本人学生は海外留学を義務付け） 期待される効果： ● 若者の増加 ● 先進的な教育環境の整備（若者の流出を阻止） ● 地域への就職率の向上 ● 地域企業の人材確保・グローバル化の支援
【添付資料】 ・なし

くれワンダーランド構想に向けた取組について

【構成員の名前】	赤川 安正
【提案する取組の名称】	大学サテライトの誘致
【取組の概要】	広島大学呉サテライト（仮）の誘致 課題： 呉市は広島大学と自治体連携協定を締結した最初の自治体（平成 18 年）であるがこれまで広島大学の知を十分に活用できていない。 取組の概要： 広島大学呉サテライト（仮）を呉市役所内に設置し（常駐の人を配置、いつでもアクセス可能な状況で）、社会人講座、技術相談、学術指導、共同研究などを展開する。 可能性のある共同事業の例としては、以下のとおり。 ● サテライトキャンパス（起業講座、情報科学系講座など）の実施 ● 広島大学防災・減災センターとの共同研究（災害に強いまちづくり） ● 歴史と文化のある音戸、倉橋、安芸灘 4 島の再評価 ● 広島大学生（留学生や日本人学生）と島嶼部地域との交流 期待される成果： 呉市側 ● 呉市のニーズや課題解決に広島大学の知を活用、呉市や呉の企業の活性化の推進 ● 広島大学との交流・情報交換を円滑に促進 広島大学側 ● 社会人講座、技術相談、学術指導、共同研究などを効果的に展開、呉市の活性化に貢献でき、呉地域での広島大学の存在感の強化 ● 呉市の産業界との密接な連携関係の構築
【添付資料】	・なし

くれワンダーランド構想に向けた取組について

【構成員のお名前】	石坂 美苗
【提案する取組の名称】	瀬戸内海や街並みを生かした観光振興
【取組の概要】	瀬戸内海に面する港町呉市は、多島美に恵まれた美しい自然に囲まれるとともに、平清盛や海軍基地など歴史の深い街でもあります。 市の中心部には、呉港や大和ミュージアム、文化ホールなどレンガ造りを感じさせる建物が点在しています。これらの趣のある建物を中心に、港町の雰囲気を生かした街づくりをこれからの観光振興に生かしていければと考えます。 また、広島方面から呉に向かう国道31号線と三原方面から呉に向かう185号線から見える海沿いの景色は、瀬戸内の美しさを感じられるドライブコースだと思います。ドライブコースの目的地として、呉市の既存の観光施設と合わせ、食事、物産、遊びを目的とした、海、または道の駅があれば呉市、近隣の市町村、観光者にとって楽しめる場所になるのではないかと考えます。道の駅のモデルとしては、湖畔の駅福富、愛媛県内子のフレッシュパークカラリは、私が訪れた中では特に楽しく、また訪れたいと思える施設でした。
【添付資料】	

呉市復活新計画-くれワンダーランド構想

まさに笑顔が溢れるイキイキした呉に！

人が集い、経済が活性化すると、まさに笑顔が溢れる



まずは呉市に来ていただき、そして滞在時間を伸ばしていく



滞在時間が伸びれば消費額も伸び、経済が活性化する

《参考情報》

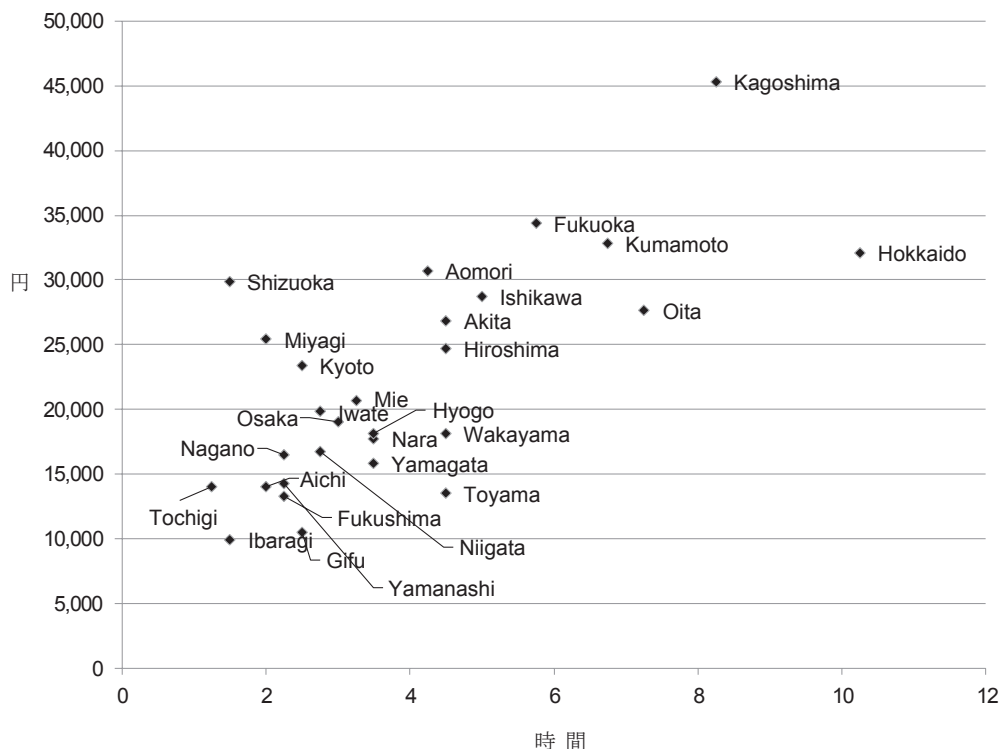
経済産業省地域経済産業グループ「地域経済産業活性化対策調査(国内の観光リゾート地等における空間構成及びサービス業集積状況調査)報告書」

- ・観光客の地域での消費額は、一般的に滞在時間に比例する
- ・単位時間あたりの消費額については、消費対象のモノ、サービスの質や多様性に加え、消費を連続的に行える環境にあるかどうかにも影響する
- ・「地方都市・集積率の高い地区」の方が、「温泉地や集積率の低い地区」よりも消費額が多く、再訪問意向も高い。

さらに「人は長距離を移動すると財布の紐が緩くなる」ので



遠方から来てもらえるよう、効果的に情報を発信して行く



目的地への移動時間と消費額の関係

桜美林大学渡辺康洋教授「日本国際観光学会論文(1次交通距離と消費額の関係性)」

Phase 0 無から有へ 「とにかく呉市に来てもらう」

「世界の隅々から呉市を目指して来てもらう！」のも嬉しいが、まずは即効性のありそうな「広島県を目指して来る方に呉市にも来てもらおう！」から始める。

日本全体では旅行先で最も楽しみにしていることは『おいしいものを食べること』だが、広島県に来る方は『文化的な名所(史跡、社寺仏閣など)を見ること』を最も楽しみにしている。呉市には国重要文化財の本庄水源地堰堤水道施設をはじめ国重要伝統的建造物群保存地区の呉市豊町御手洗伝統的建造物群保存地区など様々な国や県の重要文化財や史跡がたくさんあるので広島県に来る方を惹き付けるポテンシャルは十分ある。

さらに、日本全体では旅行先で最も楽しみにしていることのNo.2は『温泉に入ること』であるにもかかわらず、著名な温泉がないためか広島県に来る方では8位に留まっている。呉市には風光明媚な上蒲刈島の海浜展望天然温泉や倉橋島の源泉露天風呂のほか、呉駅や新広駅の周辺にも天然温泉の施設があるので、呉市には旅の満足度を高める力も十分ある。

《参考情報》

『旅行年報2018』第1編 日本人の旅行市場 公益財団法人日本交通公社

旅行先の最も楽しみにしていたこと

日本全体

- 1 『おいしいものを食べること』 (17.9)
- 2 『温泉に入ること』 (14.5) ★★★
- 3 『自然景観を見ること』 (12.2)
- 4 『文化的な名所(史跡、社寺仏閣など)を見ること』 (11.7)
- 5 『観光・文化施設(水族館や美術館、テーマパークなど)を訪れること』 (9.7)

広島県

- 1 『文化的な名所(史跡、社寺仏閣など)を見ること』 (25.0) ★★★
- 2 『おいしいものを食べること』 (16.9)
- 3 『自然景観を見ること』 (11.5)
- 4 『観光・文化施設(水族館や美術館、テーマパークなど)を訪れること』 (10.1)
- ...
- 8 『温泉に入ること』 (4.6)

旅行先(都道府県)別の現地活動(複数回答)

日本全体

- 1 『自然や景勝地の訪問』 (39.2)
- 2 『温泉』 (38.1) ★★★
- 3 『現地グルメ・名物料理』 (35.8)
- 4 『歴史・文化的な名所の訪問』 (30.2)
- 5 『まち並み散策・まち歩き』 (29.6)
- 6 『ショッピング・買い物』 (24.9)

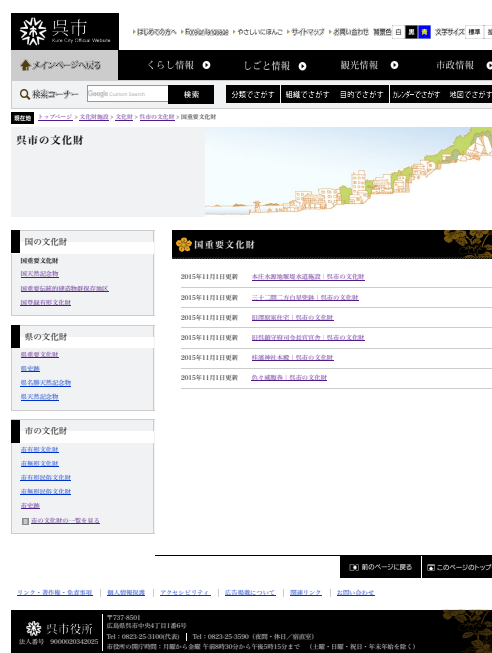
広島県

- 1 『歴史・文化的な名所の訪問』 (48.8) ★★★
- 2 『自然や景勝地の訪問』 (42.6)
- 3 『現地グルメ・名物料理』 (40.4)
- 3 『まち並み散策・まち歩き』 (30.0)
- 5 『ショッピング・買い物』 (20.1)
- 6 『温泉』 (17.9)

しかし残念ながら呉市の文化的な名所や温泉に関する情報を集めるのは容易ではない。呉市の文化財の素晴らしいパンフレットがあるが、印刷用にダウンロードする形式になっているのでスマホでは見辛い上に日本語版しかなく、呉市のホームページの市の文化財の一覧は旅の行き先を検討するにはビジュアル的に適していない



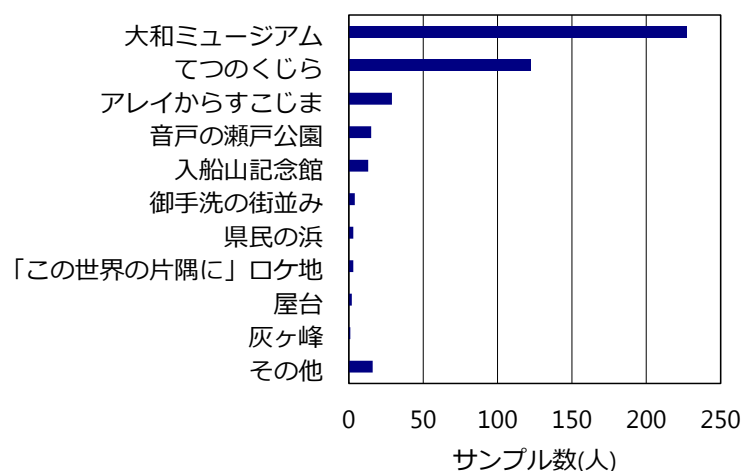
呉市の文化財パンフレット



呉市の文化財インターネット

Phase 1 点から線へ「市内移動や滞留」

呉市を訪れる観光客の意識分析調査によると、観光客の多くは観光目的地として大和ミュージアムとそれに隣接するてつのくじらが多く、他の観光地を目的としている人が少ないため、大和ミュージアムとてつのくじらを見学してしまえば観光を終えて呉から帰ってしまう人が多い。

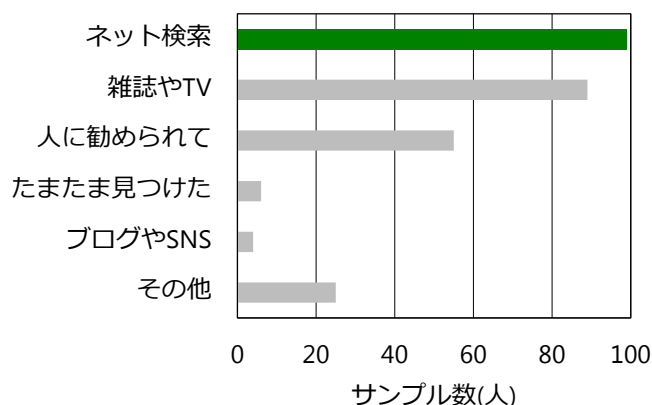


「観光の目的地は、どこでしたか」

呉工業高等専門学校研究報告「呉市を訪れる観光客の意識分析」

また、映画アニメ『この世界の片隅に』を見て呉市を訪れた観光客の中には、映画に出てきたスポットを訪ねたかったが、どこにあるのか、どのように行けばいいのかが分からず、行くのを諦めたという人が複数人いたことが報告されており、大和ミュージアム以外の見学場所を訪問するための交通手段を整備し、その掲示や広報を行っていく必要があると指摘されている。

さらに、観光客の多くがインターネット検索によって観光場所をリサーチしており、大和ミュージアム以外を観光客が観光目的とするためには、観光地のインターネット情報を整備することが重要であることも指摘されている。



「観光の目的地は、どのように知りましたか」
呉工業高等専門学校研究報告「呉市を訪れる観光客の意識分析」

Phase 2 線から面へ「市内に泊まってもらう」

英国の雇用の8%を占める英国ナイトタイム産業協会によると、ナイトタイム産業は全産業総売上高の6%に達し英国で5番目に大きい産業になっており、全産業総売上高1,624兆円の日本に当てはめると約130兆円の収入を生み出せる可能性があると言われています。

呉市街で夜10時以降からでも入れるお店の数をインターネットで検索すると、東京の青山周辺とほぼ変わらないことがわかり、訪日外国人のナイトタイム観光に十分対応できる可能性があります。

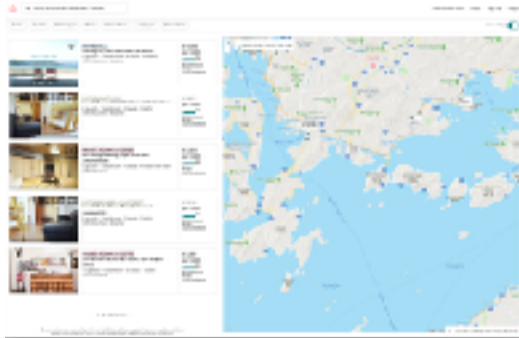
呉市「丁」目録の夜10時以降からでも入れるお店



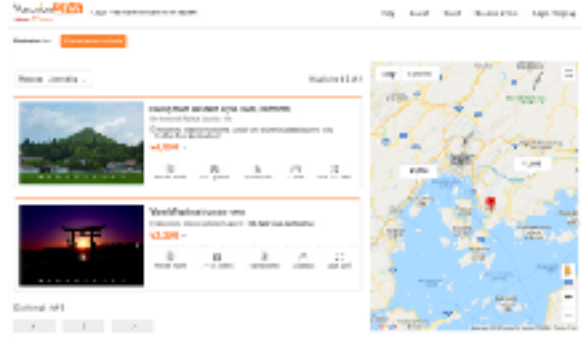
呉市の夜10時以降からでも入れるお店



しかし残念ながら若者や外国人に人気の民泊は近隣の市町村まで探しても殆ど無い。



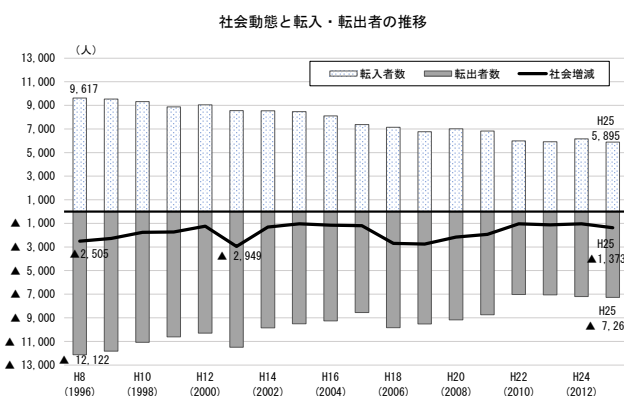
Airbnbでは5件のみ



楽天のサイトでは2件のみ

Phase 3 面から空間へ「出会い・結婚・移住」

そして究極の目標は呉市に移り住んでもらうことです。平成8(1996)年以降の社会動態を見ると、常に転出数が転入数を上回っており、毎年1,000人以上の「社会減」が続いています。転出超過となっている都市を見てみると、隣接している広島市と東広島市だけで全体の約1/3を占めており、ともに通勤圏内です。

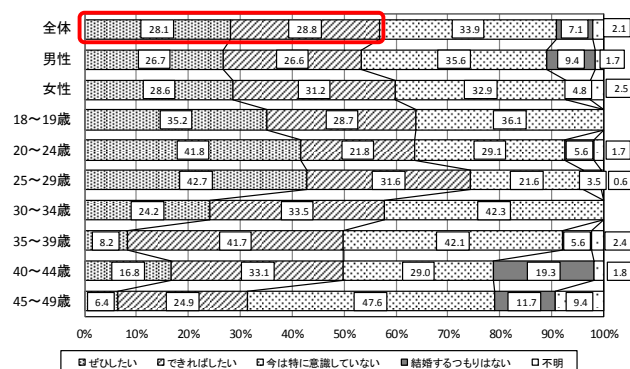


転入超過先と転出超過先一覧 (単位：人)

転入元 (上位10地区)		転出先 (上位10地区)	
江田島市	208	広島市	▲ 518
舞鶴市	27	東広島市	▲ 209
札幌市	14	東京都特別区	▲ 126
鳥取市	13	福山市	▲ 65
周南市	12	大阪市	▲ 47
横須賀市	10	横浜市	▲ 38
廿日市市	10	福岡市	▲ 33
今治市	10	府中町	▲ 30
大分市	10	下関市	▲ 30
伊勢崎市	9	大村市	▲ 28
全市町村計	888	全市町村計	▲ 2,261
(内 県内)	231	(内 県内)	▲ 943
(内 県外)	657	(内 県外)	▲ 1,318

※ 総務省『住民基本台帳人口移動報告』(平成25年度)

また、呉市に居住する18歳から49歳までの男女3,000人を対象に行った「結婚・出産・子育てに関するアンケート調査(平成27年度)」の結果によると、未婚者の6割は、今後の結婚への希望を持っています。



結婚の希望(結婚・出産・子育てに関するアンケート調査)

取組の提案

「大和ミュージアムを起点とした観光ワンダーランドの整備」

1) 大和ミュージアムにて、呉市の文化的な名所(文化財や史跡等)の概要や場所(行き方)がわかる常設展示を行う

ディズニーランドに行った時に真っ先に案内所に行く人が少ないのと同じように、呉市に来た人が真っ先にくれ観光情報プラザに行くとは想定しがたい。また、大和ミュージアムにてくれ観光情報プラザを紹介しても、先に目の前のてつのくじらに行ってしまう可能性が高く、そのあとに忘れずにくれ観光情報プラザまで来てくれる確度が低くなる。

2) 呉市の文化財のパンフレットを元にした視覚効果が高い観光客向けのホームページを作る

呉市の文化財のパンフレットは地域ごとの地図に写真付きで文化財の紹介を行なっているのですが、旅の計画や旅行中の参照に役立つがスマホでの閲覧には向かない。一方「くれナビ」のトップページは多少視覚的に作られているが「歴史・史跡を巡る」や「町を歩く」のページは旅の計画や旅行中の参照には使いにくい。



「くれナビ」のトップページ



「歴史・史跡を巡る」



「町を歩く」

3) 大和ミュージアムのホームページの目立つところに上記へのバナーを置く

現状は「くれナビ」の小さなバナーが「とびしま七つ橋」などとともに大和ミュージアムのホームページの下の方に並んでいるだけ。大和ミュージアムに行ったあとに呉市を周遊してもらえるよう視覚効果が高い観光客向けのホームページができれば大きなバナーを目立つところに置いてもらう。

4) 大和ミュージアムから呉市内の観光スポットへの交通手段の整備

大和ミュージアムかられんが通り北口までの無料シャトルバスを運行し、大和ミュージアムを見た後にれんが通りを通過して駅まで徒歩で回遊してもらう。将来的にはアレイからすこじま公園や音戸の瀬戸公園、さらに倉橋島の桂浜や下蒲刈島の蒲刈大橋、大崎下島の御手洗にまで範囲を広げる。

すぐに始められる施策として、シャトルバスの代わりに大和ミュージアムかられんが通り北口やアレイからすこじま公園までワンコイン(500円)で行ける市提供のタクシー割引クーポンを大和ミュージアムの入場者に配る。普通にタクシーで行っても700円から1200円程度だが、人間の心理として割引クーポンを貰うと使ってみたくなるので誘導効果は高いと思われる。

5) 大和ミュージアムでナイトミュージアムや婚活イベントを開催する

パリのルーブル美術館、ロンドンやニューヨークの自然史博物館など欧米の博物館や美術館は、国際会議や学術会議、企業のミーティング、展示会等におけるイベント・レセプション会場として活用されています。わが国においても、誘致拡大に向けた利用促進事業の一環として、三菱一号館美術館、国立新美術館、文化学園服飾博物館において観光庁がモデルイベントを実施しています。

東京都では東京都江戸東京博物館・東京都庭園美術館・東京都美術館・東京都写真美術館など都立の美術館・博物館が、21時までオープンしているナイトミュージアムを開催しており、東京国立博物館では公式ホームページの他、イベント業者経由でも貸し出しております。また、東京都庭園美術館を始め、様々な博物館や美術館で婚活イベントも執り行われています。

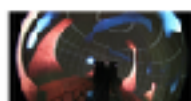


エントランス
×
レセプション
東京国立博物館
日本で最も歴史のある博物館「東京国立博物館」では、文化的価値の高い建築物を利用し、レセプションやウェルカムショーをはじめ、数々のイベントを数多く開催しています。多くの参加者に、施設の魅力を知ってもらうきっかけにもなっています。

展示室
×
コンサート
国立科学博物館
国内最大級の総合科学博物館「国立科学博物館」では、展示室やホール、講堂などを積極的に貸し出しています。近隣の文化施設を見ながら聴くコンサートは、参加者に高い満足度を提供し、施設は数々の成功の機会を生み出しています。



【イベント】「東京国立博物館」
【会場】東京国立博物館
【日時】2018年7月19日(木) 15:00～17:30
【料金】全席指定 ¥1,800円(税込) 全席自由 ¥1,500円(税込)
【申込】東京国立博物館



【イベント】「東京国立博物館」
【会場】東京国立博物館
【日時】2018年7月19日(木) 17:00～19:00
【料金】全席指定 ¥1,800円(税込) 全席自由 ¥1,500円(税込)
【申込】東京国立博物館



知名度が高く、駅に近くて遠方からも来やすい地の利を生かして、大和ミュージアムの呉市でも観光客の誘致だけでなく、結婚して移り住んでくれる人たちを増やすことに活用してみるのはいかがでしょうか？

提案者：くれワンダーランド構想推進会議 構成員 郡山 龍

2018.11.15

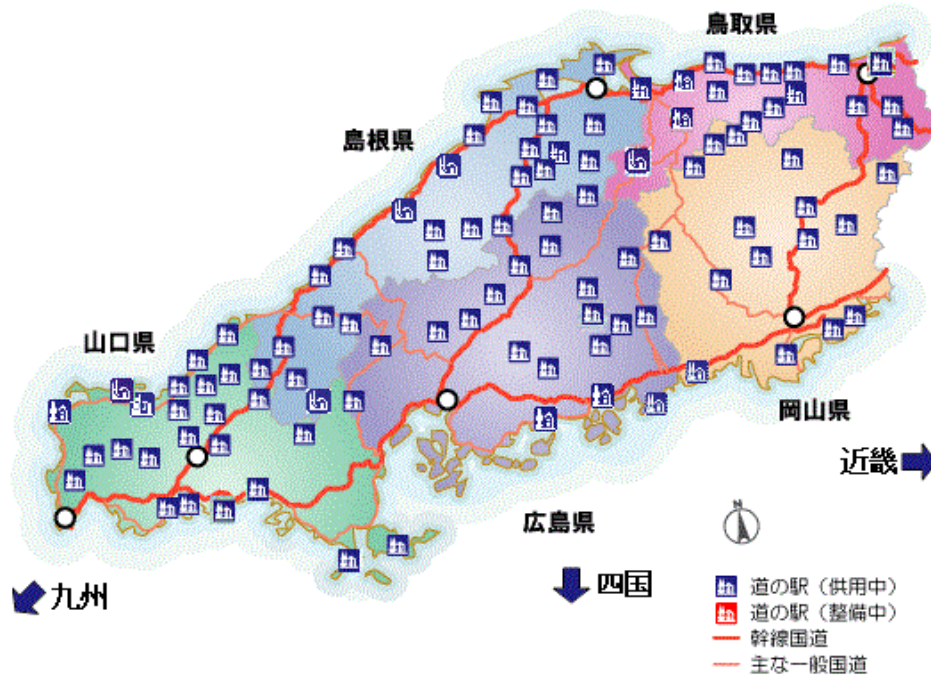
「道の駅」制度を活用した拠点整備

塚井 誠人

中国地方の道の駅

<http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/doyroj/michinoeki/Michi-no-Eki/index.html>

国土交通省道路局，2018.11.15 現在



内閣府小さな拠点の説明，平成29年5月より

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/about/chiisanakyoten/>



2. 呉駅周辺地域総合開発 広域との関係性(平常時)

呉駅周辺地域総合開発により現在の地域間ネットワークをより強化し、呉市の更なる活性化を目指します

呉駅の総合交通結節点化・モーダルコネクトの強化



[凡例] 4種の交通モード

- 都市間バス
- 路線バス
- JR 呉線
- 航路

呉市都市計画マスタープラン

- 都市拠点
- 地域拠点

期待される効果と広域との関係性



[凡例]

- 広域連携ルート
- 観光ルート

国土地理院の電子地形図に追記して掲載

国土交通省平成 28 年度住民サービス部門 モデル「道の駅」6 駅

http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/juten_eki/theme_model01.html

公共の福祉増進を目的とした地域住民へのサービス向上に資する取組を実施し成果を上げているもの

高齢化社会に対応した地域福祉向上のための取組，地域課題に対応した住民生活支援のための取組

小さな拠点形成を目指した取組

1. 道の駅「両神温泉薬師の湯」（埼玉県 小鹿野町）

○町が「道の駅」を地域福祉の拠点として位置付け

○高齢者が集う生きがいがづくり・交流の場を形成

農林産物直売所での買い物や出品，温泉施設やデイサービスセンターの利用

○集落から「道の駅」への高齢者の移動手段を確保

「道の駅」にバスターミナルを整備



2. 道の駅「桜の郷荘川」（岐阜県 高山市）

○「道の駅」が住民の憩いの場、交流の場として機能

○地域住民の健康増進に資する取組を実施

温泉施設への無料送迎，屋内運動場でのスポーツフェスティバル等

○「道の駅」が地区のまちづくり協議会へ積極的に参画・連携



3. 道の駅「美山ふれあい広場」(京都府 南丹市)

○行政サービスや福祉サービス等の機能・施設が集積

住民票や各証明の交付等の行政サービス等

診療所、保健福祉センター、高齢者コミュニティセンター等の福祉施設等

○住民自治組織が中心となって組織を包括し、総合的な拠点を形成



4. 道の駅「鯉が窪」(岡山県 新見市)

○計画から運営まで住民主体を掲げ「小さな拠点」を形成

○多様な機能を集約したワンストップサービス

○高齢者福祉サービスの提供

デマンドバス等の運行、宅配、安否確認サービス



5. 道の駅「小豆島オリーブ公園」(香川県 小豆島町)

○町が「道の駅」を福祉施策の中核として位置付け

○地域住民の健康増進に資する取組

介護予防教室や健康教室

健康に関する講演会等

○「道の駅」全体の収益を福祉関連施設の運営に還元, オリーブ販売等による収益



6. 道の駅「酒谷」(宮崎県 日南市)

○「道の駅」の収益を自治組織に還元し「小さな自治」を形成

○地域住民の交流の場の創出

郷土料理、特産品加工の体験学習

そば打ち体験等の生涯・体験学習

○高齢者の見守り活動も兼ねた地域福祉サービスの提供

弁当宅配、農作物の集荷代行等



平成 29 年版選定結果：

http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/juten_eki/theme_model01_h29.html

中山間地域及びその周辺地域において、「道の駅」が公共交通モード間の接続拠点となっており、接続機能向上の取組※により、現時点で地域住民の生活の足の確保に資する成果をあげているもの

※接続機能向上の取組例

バス停上屋、ベンチ、待合スペース、連絡通路、ダイヤ調整、公共交通中心の空間配置等



3. 道の駅「輪島」(石川県 輪島市)

○「道の駅」を起点として、将来の無人自動走行も見据えた電動カートの試験走行を実施。

○隣接の文化会館と「道の駅」の間を渡り廊下で結び、利用者が濡れずに行き来できる環境を整備。



6. 道の駅「舞ロード IC 千代田」(広島県 北広島町)

○バスと一般車両の空間分離や高速バスとの連絡通路のバリアフリー化など

○民間バス事業者と連携して、高速バスチケットの販売や IC チャージ機の設置。乗継利便性を向上。

自動運転と呉のまちづくり

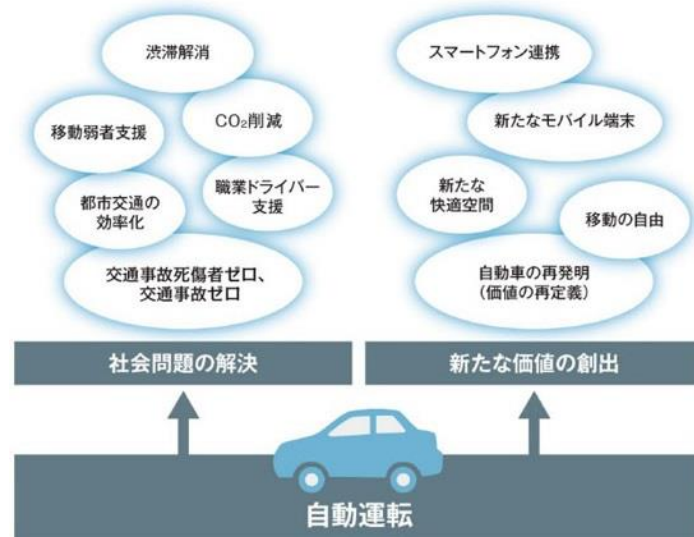


図 自動運転を議論する理由

(日経系 web サイト：未来コトハジメ、運転支援か、自律走行か、自動運転で目指す二つの姿 2017.05.23 より)

○ 社会情勢の変化：自動運転に関連する基礎技術の成熟と、社会実装に向けた官民体制の構築

・国土交通省の状況

- 1) ハンドル、制動装置などを持たないクルマでも「車両」として認定し、法令上の問題をクリアするように（国土交通省自動運転戦略本部）。
- 2) 自動運転の社会実装に向けた実験：「中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス」を開始（2017 年公募，2018 年より）→全国に実験地域多数
- 3) 全国のニュータウンを対象とする公共交通ネットワークへの自動運転サービスの社会実装に向けた実証調査を行う実施主体の公募を開始（S I P 自動運転研究開発計画）及び「都市交通における自動運転技術の活用方策に関する検討会」等の検討内容に基づく公募，2018 年 11 月 5 日終了）

・自治体の状況

- 1) 京都市：自動運転の社会実装に向けた検討会議を開催（2018.08～）
- 2) 愛知県：あいち自動運転コンソーシアムの活動（2017～），システム，データ，モビリティの各方面について検討。モビリティ分野が社会実装に関して検討。

○ 「くれワンダーランド構想」にて議論すべきと思われること

- ・市街地中心部での新たなモビリティの姿、特に自動運転関連技術でしか実現しないような、サービスを踏まえた検討（運転者異常時緊急停止装置，自動バレーパーキング＝自動駐車回送など）。
- ・自動車＝モビリティを保有する社会から，利用権を購入する社会への転換。
- ・呉のまちづくり（島嶼部や山間部，呉駅周辺の再開発等）にこれらの考え方をどう落とし込むか？

くれワンダーランド構想に向けた取組について

【構成員の名前】	堂下 大地
【提案する取組の名称】	観光客を呉に滞在・周遊させる仕掛け（観光案内機能を備えた道の駅・海の駅）の整備
【取組の概要】	前回の会議で事務局からご説明された「ユニークベニュー」という考え方は「大和ミュージアム」一点に集中している観光客を回遊・滞在させる有効な手段だと思いますが、市内中心部の施設だけでなく、下蒲刈や御手洗なども含めて、歴史的遺構や建造物・スポットがどこにあって、どうすればアクセスできるのかといった情報を観光客に提供する手段をもっと整備する必要があると思います。 また、前回私は「アニメ映画『この世界の片隅に』で呉を訪れる聖地巡礼者が増えているので、受皿の整備も必要である」と述べましたが、その他の映画やドラマ等の作品も含めて、ロケ地やゆかりの地に関する情報提供も同様に必要だと思います。 現在呉市には宝町に「観光情報プラザ」がありますが、立地的に JR で大和ミュージアムを目指す観光客は利用できるものの、マイカー客は立ち寄れないため十分に機能しているとは言えません。 私が訪れた観光地の中で参考になった事例としては、主要な観光スポットにその地域全体の観光案内機能を備えた施設が併設されており、観光客はそこで別の観光地や飲食店などの情報を得て周遊するという流れを作っているところがありましたので、呉においてもそうした観光客の動線を意識した情報提供の仕方を工夫してはどうでしょうか。 また、最近全国各地で「道の駅・海の駅」が観光客に対してお土産物や地元の農産物・水産物などを提供すると同時に、地域の情報を提供できる施設としても活用されており、その地域の住民も地元の生鮮品を調達するために活用しているケースが増えていますが、残念ながら呉には「道の駅」は無く、「海の駅」も知名度や機能度が低いのが実情です。 そこでご提案なのですが、中央棧橋の建物の2階などの空きスペースを有効活用して「海の駅」とし、観光客にお土産物や地元の農産物・水産物などを提供するとともに市内中心部の観光スポット情報はもちろん、島嶼部や周辺地域の観光やアクティビティに関する情報も提供できるようにして、当地の観光拠点としてはどうでしょうか（細かいことですが大和ミュージアム2階の関係者専用出入り口も一般開放して来館者の行き来を自由にする 것도検討に値すると思います）。 また、「道の駅」についても、クレアラインの途中などに開設できれば、観光客にとって使い勝手の良い施設になると思います。
【添付資料】	なし

くれワンダーランド構想に向けた取組について

【構成員の名前】	堂下 大地
【提案する取組の名称】	島嶼部を中心とした体験型観光の推進
【取組の概要】	前回の会議で事務局から「農業×観光」のご説明があったのに関連して、私は「最近では、“観る観光”から“体験・共感型の観光”に変わってきている」と申しあげましたが、体験型観光の整備について、私の趣味であるサイクリングを題材に「とびしま海道」と「しまなみ海道」を比較しながら意見を申し上げたいと思います。 しまなみ海道は、元々橋を建設する段階から自転車走りやすい環境づくりをコンセプトとしており、橋に上り下りする自転車専用道路も緩い角度で楽に走れるよう設計され、各島の歩道も広く段差も少なくしてあるなど自転車に優しい設備になっています。また、知名度の高い尾道市が市の倉庫を改造してサイクリスト用の宿泊・飲食・小売施設を整備し、そこに海外自転車メーカーが出展してそれをマスコミが取り上げるといった相乗効果もあり、今治市や他の島々でも小規模な宿泊施設や飲食店の開業が続いて現在のような「サイクリストの聖地」になっています。 ただ、実際に走る者の視点から見ると、これらの設備が快適なのは事実なのですが、より素晴らしいと感じるのは、サイクリストが安心して走れるように地元の人たちがしっかりと受入れ態勢を作ってくれているというところに大きな魅力を感じます。 具体的には、農家民宿やガソリンスタンド、小売店、喫茶店などが「サイクルオアシス」という看板を掲げて、サイクリストに空気入れや水、トイレを無償で提供してくださっているほか、走行時のトラブルに対するレスキュー体制も整えられています。 これに対してとびしま海道は、元々農道として作られた橋ですので自転車のことは一切お構いなしの急坂ですし、島々の道路には排水溝や目の粗いグレーングなどの危険箇所が多く、しかも集落が離れていますので非常に心細い思いをして走らざるを得ません。 サイクリングロードの設備管理は県の所管かもしれませんが、地元の受入れ態勢等については市も積極的に関与していただく必要があると思いますので、是非ご検討をお願いしたいと思います。 また、最近では下蒲刈島でレンタサイクル事業を展開しておられる方や、蒲刈島、倉橋島でシーカヤック、SAPなどの体験コースを開催しておられる方もいらっしゃいます。前回の資料で「わくわく島ライフを満喫」と書かれていましたが、美しい海洋資源をもっと活用できたら良いなと思います。
【添付資料】	なし

くれワンダーランド構想に向けた取組について

【構成員の名前】 堂下 大地
【提案する取組の名称】 起業家をトータルにサポートできる支援体制の整備
【取組の概要】 9月10日に呉市が開催された「企業化支援プロジェクト・スタートアップ講演会」は大変盛況で、起業を支援しておられる雑誌編集者の基調講演や既に当地で起業されている方々の体験談は大変参考になりました。 同じような講演・交流会は、以前私が所属していた経済団体でも開催したことがありますが、結果的にその期の活動方針の成果に止まってしまって、息の長い支援活動に結び付いていかなかったことが気がかりでしたので、今後の呉市の取組みには大いに期待したいと思います。 なお、前述した経済団体での経験（反省）も踏まえて申し上げれば、当地で起業される方は、当地出身者でなければ当然のことですが、当地出身者であっても同業・異業種を問わず“横のつながり”が弱いと思いますので、呉市には各種の団体とコンタクトを取りながら、起業家の相談に応じる中で適時そういった諸団体を紹介して、みんなで支えていく体制を作っていただきたいと思います。 もちろん、私の本業である金融機関は最も必要とされる支援機関であることは承知していますが、それ以外にも法務、税務など企業活動に必要な団体はいくつもあり、また、企業規模等に応じた経営者団体もありますので、是非よろしくお願いします。 また、前回も申し上げましたが、「起業」というと小売りや飲食・サービス業が主体となりますが、最近ではIT関連企業やインターネットを活用した小規模製造・販売業などが地方にサテライトオフィスを構えるケースも増えていますので、そういった企業の誘致や起業家の発掘にも努めていただくとともに、島嶼部などに誘致する場合は通信インフラ（インターネット環境）や子育て・教育環境の整備にも努めていただきたいと思います。
【添付資料】 なし

くれワンダーランド構想に向けた取組について

【構成員の名前】 堂下 大地
【提案する取組の名称】 “made in KURE” のブランド力の更なる向上
【取組の概要】 前回の会議で事務局から示された資料にはほとんど触れられていなかったのですが、ワンダーランド構想の Vision2 には「時代を先取る産業の創造」と書かれており、この言葉には、呉の伝統的な“ものづくり産業”が時代とともに最先端を目指して発展していくことを支援するという意味も含まれていると思います。 そういった視点で現在の呉の産業を見ると、海軍工廠の流れをくんだ造船や、その技術を活かした航空機部品生産、砥石の技術から発展した半導体製造装置や木材加工など国内だけでなく世界に誇る製品を作っているのですが、“made in KURE” のブランド力は今一つ認知度が低いように感じます。 また、最近ではペット用品の分野で伝統のやすりの技術を活かした猫の毛づくろい商品が話題となっているほか、健康関連用品や食品などの分野では多くの中小企業が新たな挑戦を続けておられますが、なかなか知名度が上がらず苦勞しておられる先が多いのが実情です。 そういった広い意味での“ものづくり”を支援する体制については、東広島市が以前から産学金官連携推進協議会を立ち上げ、専門の部署（コラボスクエア）を設置して積極的に取組んでおり、2009 年から「東広島発！ものづくり逸品認定」という制度を作って積極的に販路拡大等を支援しています。 私の知る限りでは、呉市では「くれ産業振興センター」を通じた支援体制を構築しておられますが、どちらかと言えば技術支援や補助金等の紹介に力点が置かれているように感じられますので、他地域の取り組みも参考にしながら産学金官が一体となって“made in KURE” ブランドの知名度向上に取り組んでいただきたいと思います。
【添付資料】  東広島発！ものづくり逸品認定 東広島発！ものづくり逸品認定では東広島発の優れた製品を発信いたします。_com-mht

平見絵実

「呉の魅力を増やす、発信する」

・れんが通りの有効活用

SNS 映えをするスポットを新たに造る
四季を感じる事のできる商店街
子供も大人も観光客もたのしめる空間創り

・呉の新しい名物創り

呉をイメージしたスイーツなど
市内のケーキ屋さんに依頼するなど
市民からの応募

・穏やかできれいな瀬戸内海をアピール

海水浴や釣りスポット
新鮮な海鮮類の紹介
海鮮を使った新呉名物

・呉の魅力を SNS から発信

Instagram、Twitter、youtube などから発信する
#呉市 #kurecity 呉の魅力を日本中世界中の方の力で拡散してもらう
表記は英語と日本語で

・新しい観光スポット、絶景スポットを探す、

今ある観光スポットも再発信

まだあまり知られていない素晴らしい場所(絶景)など
地域の方の口コミを聞き込みする
現在ある観光スポットの魅力を再確認、再発信する

・海外観光客に優しい街、イングリッシュスピーカーの配置

海外観光客が安心して街歩きができるよう英語案内できる人を増やす、探す
Free Wi-Fi 箇所を増やす
英語表記の呉マップを製作 その他言語表記もあれば良い

・ 若い世代が活躍できる街づくり

10代、20代のニーズを調査

現代の若者が求めているものは何かアンケートを取るなど

・ お年寄りも輝ける街づくり

お年寄りのおしゃべり空間を設けるなど

古き良き文化を若者に伝える機会を作る

(田植え、手芸、伝統菓子など)

くれワンダーランド構想に向けた取組について

【構成員のお名前】	Firste 光井 祐子
【提案する取組の名称】	専業主婦や定年退職後の元気なプラチナ世代が柔軟に働き続けられる仕事の仕組み
【取組の概要】	未就学児や幼稚園児を持つ母親で構成する任意団体 Firste として、今年度は①多世代交流を促進する取り組みとして「地域共生社会への第一歩！KIZUKU フェスタ」（福祉保健課により後援）を実施し、来年には婚活イベント（子育て支援課による呉市婚活支援補助事業）を開催予定。これは来年度から始めたいと考える多世代の地域住民が家庭の事情を優先しながら柔軟に働くことのできる“ワークシェアの仕組み”を作るための初期段階として、子どもを連れながらどの程度実務ができるのか試験的な試みである。今後はワークシェアを行うために必要なテレワーク環境を整えつつ創業準備をしていきたいと考えているが、本資料では(1)子育てと自身の取り組みとの両立の難しさ、(2)官民連携型の先進事例を交えた理想的環境の提案について記載する。 (1) 子育てと創業に向けた取り組みとの両立の難しさ ・ミーティングを行うための適切な場所がない 任意団体 Firste は、将来的に新しい働き方を創造することが目的であるため、市民公益活動団体（地域協働課管轄）や子育てサークル（子育て支援課管轄）に当てはまらず、まちづくりセンター等の施設利用に係る使用料が免除されない。子どもを遊ばせながら話をするができる子育て支援センター（くれくれば・ひろひろば）は“0～2歳児が安全に遊べる場所”であるためミーティングの場としては適切ではない。いっぱい来てくれ店舗公募事業（商工振興課管轄）に応募して場を持つことも検討したが、高額な家賃を支払い続ける持続可能性が低いため、未だ母親と子どもの負担を解消できる安心安全な場所を活動拠点とすることができていない。 また、働くという視点で考えると、ハローワーク呉では子どもを連れて就業相談ができるマザーズハローワークが設置されているが、求職者を募集する企業とのマッチングの相談のみで企業に雇用される選択肢以外の相談には対応していない。また、創業支援に関してもくれ産業振興センターではものづくりを重視する傾向にあり、女性の創業に関する理解が薄い。呉商工会議所では事業者向けのセミナーが多く開催されている印象があり、託児付きの創業セミナーが少ない。そのため、広島市内まで出向いて創業相談をすることが当たり前となってしまう。子どもを連れて広島市内へ行く労力とコストがかかるため、身近に子ども連れでも足を運べる創業支援施設があるとありがたい。 ➡呉市内にも企業に雇用されるという選択肢以外にも自分にできることを探したり、創業準備を進めるための場所があれば、雇用創出の促進や潜在労働力の有効活用に繋がる。キッズスペースを兼ね備えた適切な場所の創設が最も理想的であるが、設備や修繕費のコストがかかる場合や西日本豪雨災害の災害復旧費の問題を考慮すると、最低限対象の個人や団体の呉市役所や商工会議所等の会議室の利用許可や、創業準備期の登録者の託児費用の助成があると良い。 ・子育てとの両立は実現したいことへのパフォーマンスが低下する 出身地が県外にあり親を頼ることができない家庭や、親が介護をする場合に孫の育児に関われない状況の家庭、また夫の長時間労働により育児参加ができない家庭がある等の事情で、母親の育児負担が増えるケースがある。在宅ワークを行っても、昼間は子どもへの対応でまとまった時

間が取れず、家族が就寝した後に作業をする場合が多くなるが、寝不足になると情緒の乱れが生じて子育てにも悪影響を及ぼしたり取り組みたいことへのパフォーマンスも低下してしまう。

➡昼間に子どもを遊ばせている間に実現したいことに取り組む時間を持てたり、地域の子どもの好きなプラチナ世代が子どもの遊び相手になってくれる機会があると良い。ファミリーサポート制度の活用（サポートする人の家で子どもを預かる制度）も1つの解決策ではあるが、理想的な環境としては子どものすぐ傍で安心して取り組めるように、キッズスペースとワーキングスペースが隣にある環境であることが望ましい。

※近年、上記のような環境を作る事業者が全国に広まっている。参考までに検索ワードを挙げる。

【ママスクエア】【peekaboo（ピーカブー）】【ポリフォニースペース onoff】

(2) 官民連携型の先進事例を交えた理想的環境の提案

先行事例1：徳島県とNPO法人チルドリン徳島によるテレワークセンターの設置（添付資料①）

先行事例2：三次市と株式会社ソアラサービスによる三次市女性活躍推進プラットフォーム「アシスタ lab.」の設置（添付資料②）

上記2つの事例は女性を対象とした取り組みとなっている。
子育て世代に配慮した環境を前提とした上で、対象を限定せずとも実施することは可能なのではないか？

主婦や定年退職後等の幅広い年齢層の男女が柔軟に働き続けられる拠点の創造

<柔軟な働き方の必要性>

出産後、早く働きたい・職場復帰したいと思う女性は早々と保育園入園の手続きを行わなければならないが、その行動に移すまで親としての葛藤が大きい。出産前は職場復帰のことを最優先に考えていても我が子を育児する中で「この時期にしか見られない子どもの成長を自分の目で見届けたい」という思いが上昇したり、人手不足・長時間労働のある職場環境の中で子どもの送迎や緊急時の対応ができるのかという復職後の生活に対する不安を実感する女性もいる。また、現代は年齢を重ねてから出産する女性が増えていることも影響し、育児と介護のダブルケアを行わなくてはならない境遇の女性もいる。また、40歳を越えると正社員として再就職することが困難な状況となるが、そのような境遇でも地域社会の中で少しでも収入を得たいという主婦もいると考えられる。このように、出産後に離職する道を選択しても家庭の事情で再就職が難しい境遇にあっても“ハードルが低いところから仕事ができる機会”や、企業内の時短勤務よりも短い時間で働くことも可能となる“ワークシェアの仕組み”が必要と考えている。

また、終身雇用制度が崩壊し始めている現代では、女性だけでなく男性もいつ職を失うかわからない状況である。定年退職後の元気なプラチナ世代がボランティアだけでなく収入を得ながら活躍できる地域貢献のあり方を検討する機会を設けたり、早期退職をして創業準備をする方のネットワーク作りにもなるような機会を設ける等、地域の中で相乗効果のある拠点があると良い。

<仕事の創出>

担い手不足や人手不足を経営課題とする呉市内の事業者からの業務を切り出し、部分的にアウトソーシングして業務委託契約を締結したり、主婦の知恵や経験を活かした観光マップや移住定住ツアー等の企画運営業務を行政と連携して実施する等できれば、企業や行政が抱える経営課題（長時間労働の低減、人件費の削減等）をサポートできる事業にもなるのではないかな。

【添付資料】

- ・添付資料①「徳島県の取り組み事例」
- ・添付資料②「三次市の取り組み事例」

添付資料① 徳島県の取り組み事例

徳島県が徳島市内の廃校を活用し、子ども連れでも仕事や会議ができるテレワークセンターを開設している。「ICT ママ」を育成する養成講座も開催している。

◆新しい働き方の普及に向けて◆

「テレワーク実証センター徳島」を開設！

徳島県では、ICT(情報通信技術)を活用した場所や時間にとらわれない柔軟な働き方である「テレワーク」を推進しており、テレワークを希望する個人から企業まで、幅広く活用していただける「テレワークセンター」をモデル実証的に設置しています。



● **コワーキングスペース**
無料WiFi利用可。
コピー・印刷は実費で利用可。



● **赤ちゃんの部屋**
● **キッズルーム**
乳幼児
利用自由



● **カフェスペース**
● **会議室**(要予約)

利用無料

利用にあたっては登録が必要です。

● Facebook(フェイスブック)でセンターの情報を発信しています。
<https://www.facebook.com/teretoku/>



● **所在地**
徳島市南島田町2丁目25番地(旧徳島テクノスクール 理美容科棟2階)
TEL090-3187-9845

● **開所時間**／10:00～17:00
(土・日・祝、年末年始を除く)

● **運営(受託者)**
NPO法人チルドリン徳島

労働相談窓口案内

●労働雇用課(徳島県庁5F)

賃金や労働時間など労働条件に関すること、解雇に関する諸問題など労働問題全般にわたって相談に応じています。
平日(8:30～18:15)年末年始を除く

●仕事なんでも相談室

労働問題全般にわたって相談に応じています。
徳島市昭和町3-35-1 労働福祉会館2階 TEL0120-783-072
土・日(10:00～16:00) 平日夜間(16:00～20:00) 祝日、お盆、年末年始は休み

添付資料② 三次市の取り組み事例

三次市がみよしまちづくりセンター内に、三次市女性活躍推進プラットフォーム「アシスタ lab.」を設置し、コワーキングスペース・キッズスペース・チャレンジキッチン・フリースペースの共存を実現。

～子どものそばで「仕事づくり」のできる場所～

三次市女性活躍推進プラットフォーム「アシスタ lab.」がオープンします！

三次市では「女性が働きながら子育てできる環境日本一」をめざし、みよしまちづくりセンター1階に、子育て世代の女性のライフステージにあわせた女性の様々な選択やチャレンジを応援する「三次市女性活躍推進プラットフォーム『アシスタ lab.』」を開所し、4月23日（月曜日）から通常利用がスタートします。これを記念し、次のとおり一般内覧会およびオープニング記念イベントを開催します。皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひおこしください。



「アシスタ lab.」とは

子育て中のママや家庭と仕事の両立を模索する女性など、三次で「何かしたい」「自分らしさを生かしたい」と考える女性たちを応援するクリエイティブスペースです。仲間と出会う、子連れで何ができるかを考えたり、自分の強みを見つけたり、仕事の可能性を探ったり、企業の準備をしたり。。。あなたの「最初の一歩」のきっかけに出会う場です。

場所

みよしまちづくりセンター1階（三次市十日市西六丁目10番45号）

アシスタ lab.とは？

子育て世代の女性のライフステージに合わせて女性の多様な選択やチャレンジを支援！
三次女性の「最初の一歩」を応援する拠点です！！

KIDS SPACE
キッズスペース

子どもと一緒に遊べる、本を読んだり、パソコンを使ったりできるスペース

COWORKING SPACE

コワーキングスペース
フリーランスや、在宅勤務、副業を希望する女性のためのワークスペース

FREE SPACE
フリースペース

自分探しや、趣味や仕事、仲間たちの情報交換などに使える場
ユーザー同士で気軽に、仕事・就労に関する相談ができるスペース

CHALLENGE KITCHEN
チャレンジキッチン

お料理教室や、カフェ開業、お菓子作り教室などを見学したい女性のための体験型スペース

Workshop

mananiwaとは？
広島県内で活動するクリエイターグループ、東広島市広島店や広島PARCOなどでのポップアップショップや、自主開催イベントなど広島県内各地で活動中！
mananiwaの選定は、【目で選ぶように学び】【学びの中で人と人の「輪」をつくる！】【学・創・産・研・にわ】【学・創・産・研・にわ】を軸とした選定。

mananiwaとは？
mananiwaとは？
mananiwaとは？

ワークショップ

- ① 切りガラスアクセサリー
ガラスドームの中に切ったガラスの欠片や花を入れてオリジナルのストラップorピアスorイヤリングを作ります。
講師 城塚 弓絵 ② 20分程度
定員 各20名 ③ 参加費 1,200円 アタセサリー 2,000円
会場 各時間5名受付
開催日時 11時、12時、13時、14時、15時
会場 コワーキングスペース（アシスタ lab.内）
- ② ドライフラワーBox
好きなドライフラワーを選び、Boxに貼り付けます。
好きな文字を書いてオリジナルのドライフラワーBoxの出来上がり、プレゼントにもオススメです！
講師 nail saron Sun Light 野島 由貴
③ 20分程度 ④ 参加費 1,600円
定員 各20名 ⑤ 参加費 1,600円
会場 各時間5名受付
開催日時 11時、12時、13時、14時、15時
会場 コワーキングスペース（アシスタ lab.内）

⑥ WEBで検索！ スキルミガキ広島 <http://skill-migaki.com/hiroshima/>
「スキルミガキ広島」セミナー申込フォームより事前申込を受付中！※空きがある場合当日申込も可
⑦ FAXでお申し込みの方は裏面の申込用紙にご記入の上お申し込みください。

ワークショップ体験中はお子様の数先着8名まで
託児受け入れスペースあります！

アシスタ lab.

オープニング記念イベント

アシスタ・マルシェ

4.21 sat. 10:00-16:00

入場無料

場所：みよしまちづくりセンター 1F
三次市女性活躍推進プラットフォーム
「アシスタ lab.」
三次市十日市西六丁目10-45
主催：三次市

Cooking Seminar

親子で参加もOK！
特別企画
キッチンでセミナー

美肌エキスパート 中西しほりの「キレイでかわいい美肌へのクッキング」
広島出身のお料理タレント、中西しほりさんを講師にお招きし、お料理セミナーを開催します。
子どもが喜ぶ簡単カワイイお料理の作り方や、美肌になれるレシピをお見せします！
お子様も一緒にぜひご参加ください。

参加費 ① 11:00～11:45 ② 14:30～15:15
定員 各30名 ③ 参加費 500円
会場 チャレンジキッチン（アシスタ lab.内）
申込方法 ④ WEBで検索！ スキルミガキ広島 <http://skill-migaki.com/hiroshima/>
「スキルミガキ広島」セミナー申込フォームより事前申込を受付中！※空きがある場合当日申込も可
⑦ FAXでお申し込みの方は裏面の申込用紙にご記入の上お申し込みください。

講師紹介
料理研究家・美肌エキスパート 中西しほり
美容や肌を美しくするメニューを中心に考案し、全国で活動している。これまでに「アスタロイト（アスタロイト）」でしほり先生、お料理の専門家として「アスタロイト」を代表してNHKの番組「すくすく子育て」で、TBSの「なるまるマーケット」などにテレビ出演、広島県民を魅了。

Marche

女性活躍応援★
アシスタ lab.マルシェ開催します！

アシスタ lab.がこれから応援していく、三次で活躍していく女性を中心に、約30ブースが出店する賑やかなマルシェを開催します！
雑貨やお菓子の販売や、ワークショップ、カウンセリングなど...見て、作って、体験して楽しめます！
ゲスト出店として、クリエイターグループ「mananiwa」メンバーブースも登場します！
会場：べらホール（みよしまちづくりセンター内）